

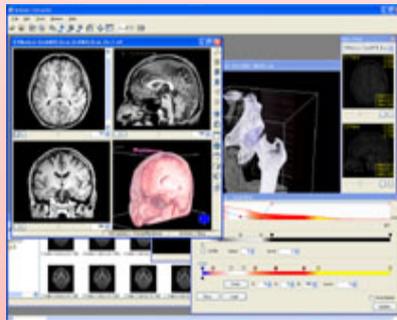
# 医療の見える化

情報をわかりやすく伝えることは、3DCGの得意分野であり、それは医療においても役立っています。

3DCGによる「見える化」は、主に「医療従事者の教育」「患者への説明」「臨床現場」といった場面で効果を発揮しています。教育分野では、これまでの平面な教科書とは異なり、3DCGで拡大、縮小、回転を行うことによって、見たい形、方向を実現できます。また、生体モデルを組み合わせることで、感触も体験することが可能です。

## 共同研究開発（医療可視化シミュレーション）

- ◆ 医療用画像3次元可視化システム：岩手県立大（製品名Volume Extractor）



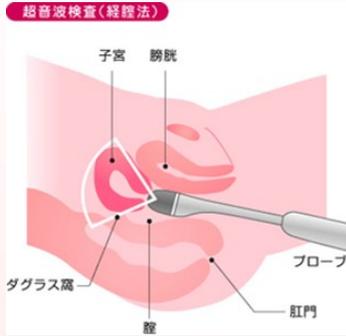
- ◆ VR産科内診トレーニングシステム：（株）高研、岩手県立大



# 共同研究開発実績（医療シミュレーション）

## ◆ VR超音波検査トレーニングシステム：岩手県立大、岩手医科大学

※開発中  
 岩手医科大学 菊池昭彦教授  
 岩手県立大学看護学部 野口恭子准教授  
 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 土井教授

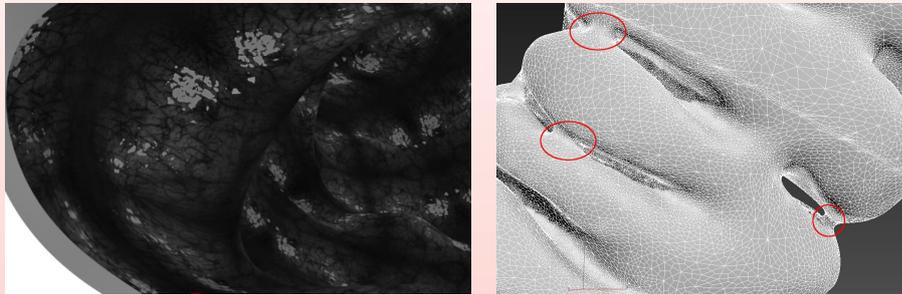


経腹エコー



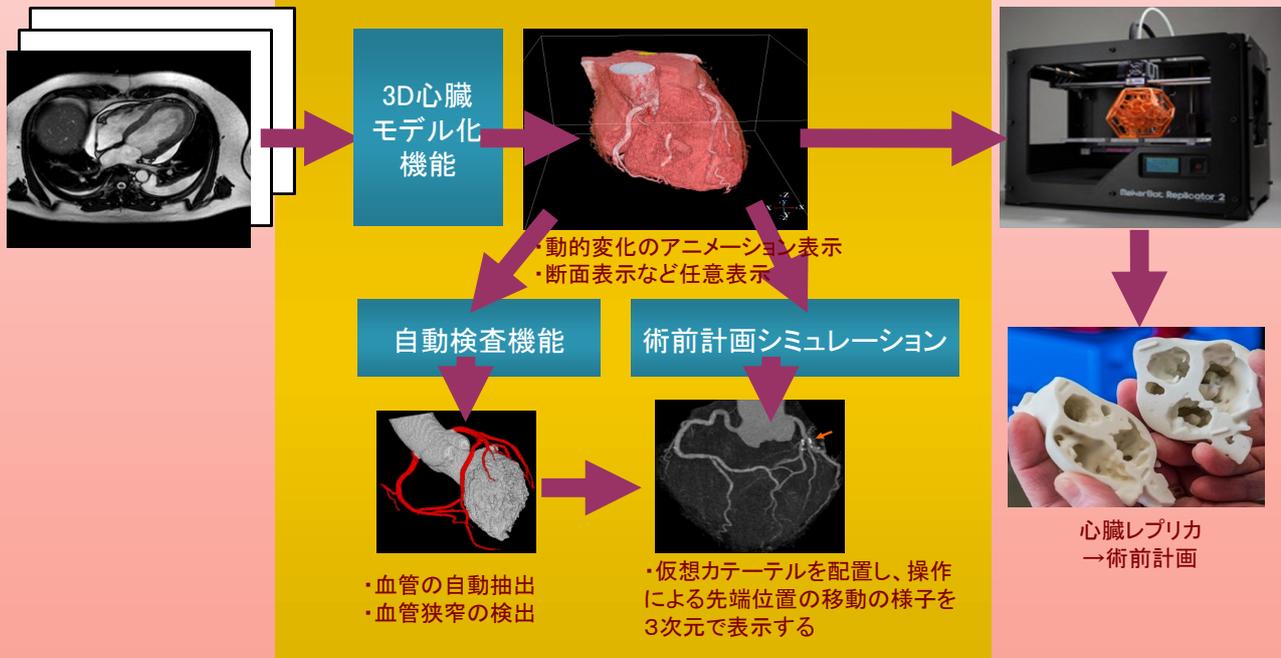
経膣エコー

## ◆ 大腸内視鏡カメラ仮想評価システム



## ◆ 心臓術前計画シミュレーションシステム：岩手県立大、岩手医科大学

心臓CT/MRI画像ファイル群



※開発中  
 岩手医科大学医学部 森野禎浩教授  
 岩手医科大学医学部 吉岡邦浩教授  
 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 土井教授